

そして誰もいなくなった

And Then There Were None



ELEVEN NINES presents dEBoo#2

そして誰もいなくなった

And Then There Were None

原作／アガサ・クリスティ 訳（戯曲版）／福田逸 翻案・演出／納谷真大



『12人の怒れる男』に続くデブー第2弾。
ミステリーの女王アガサ・クリスティ不朽の名作を、
日本を舞台に、納谷真大が甦らせる!!

1920年代、世界大恐慌の波に巻き込まれる前の日本。

謎の大富豪オーエン氏によって、10人の男女が、人形島にある豪邸に招かれる。しかし、そこにオーエン氏の姿はなかった。

不安に包まれた晩餐のさなか、突然彼らの罪を告発する謎の声が響き渡った直後、10人のうちの1人の男が死ぬ。

自殺なのか他殺なのか、何もわからぬまま翌朝には、また1人。ふと屋敷にあった人形に目をやると10体あったはずが8体に減っている。

1人、また1人…次々に殺されていくたびに10体の人形が1体ずつ消えていく。そして最後には…。

演出より

「アガサ・クリスティを知らない人などいない」と思っていたら、意外と知らない人がいて驚いた。とは言え、40年前にこの世界から去ったミステリーの女王は、今なおこの世界にその作品たちを君臨させている。その中でも『そして誰もいなくなった』はアガサ女王の代表作であることは疑いようもない。原作である小説はもちろん、何度も映像化・舞台化されているが、その結末をはっきりとわかる人、ラストがどうだったかと言える人はいるでしょうか？

「10人の男女が、ある島の豪邸に招かれ、1人1人死んでいき、そして最後は誰もいなくなる」という物語なんですが、「わ！ミステリーやのに結末言うてもうた！」わけなんです。実は映画と小説では結末が違います。そしてなんと！今回の舞台も違います。結末が違うだけじゃなく、東洋人丸出しの顔の役者たちが演じるのに、「ロンバート君！」とか「アームストロング先生！」なんて呼び合うのにどうしても抵抗があって、そもそもの設定を1920年代の日本に置き換えることにしました。アガサ女王に怒られるかもしれないと少しビビってますが、褒めてもらえる可能性だって、充分にあると思っています。

ミステリーの女王によって、1939年に誕生した不朽の名作を、精鋭の俳優たちと共に、2016年のコンカリーニョに甦らせませす！

納谷真大プロフィール

早稲田大学卒業後、富良野塾を経て、演劇企画集団ガジラ、秦建日子プロデュース、FICTION等、様々な劇団に役者として参加。2001年、処女戯曲作「EASY LIAR!」が「北の戯曲賞」優秀賞を受賞。同作品を上演し、初演出。2004年、演劇ユニットイレブン☆ナインを結成。旗揚げ公演『天国への会議』を成功させ、2005年『エンギデモナイ』は道内で高い評価を受ける。2008～2011年と4年続けて、北海道舞台塾公演の作・演出を担当。2006～2012年まで劇団イナダ組に参加。舞台の他にもエッセイなどの執筆、CM、ドラマ、映画、ラジオなどに脚本・出演で活動。道内外で行っているワークショップも各方面から高い評価を受けている。HBCラジオ「真夜中のあすびりん」、北海道テレビ放送（HTB）「平岸我楽多団」レギュラー出演中。



dEBoo(デブー)について

札幌の劇団イナダ組に17年在籍し、現在はイレブンナインの所属メンバーである小島達子が、2014年に自身のプロデュース団体として旗揚げしたユニット。演技演出には定評のある納谷真大を演出に、北海道内外の実力派俳優を迎え、海外や日本の近代文学や古典戯曲などを扱った上質で硬質な舞台づくりをめざす。2014年5月上演された『12人の怒れる男』は、前売券が初日の数週間前に完売、大好評のうちに幕を下ろした。翌年2015年、多くの再演希望の声を受け、同作品を札幌演劇シーズン2015・夏の上演作品として公演。同時に富良野演劇工場での公演も行った。

公演に関するお問い合わせ◎info@eleven9.jp ☎090-2814-8575

ELEVEN NINES ホームページ <http://eleven9.jp/>



出演／江田由紀浩 大橋千絵 京極祐輔 熊谷嶺（霊6） 倅田直機（実験演劇集団風蝕異人街） 榮田佳子（劇団千年王国）
すがの公（札幌ハムプロジェクト） 中塚有里（劇団清水企画） 納谷真大 藤本道（富良野 GROUP） 明逸人 【五十音順】

2016年8月4日(木)～7日(日)

生活支援型文化施設 コンカリーニョ 札幌市西区八軒1条西1丁目 ザ・タワープレイス1F ☎011-615-4859
mail@concarino.or.jp http://www.concarino.or.jp/

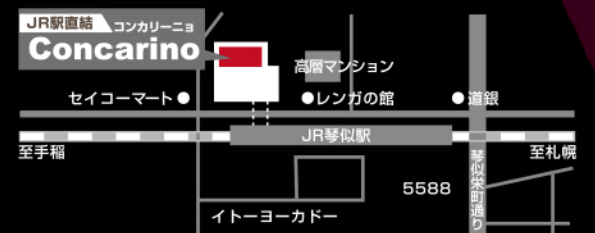
	4日(木)	5日(金)	6日(土)	7日(日)
13:00 開演				●
14:00 開演		●	●	
18:00 開演				●
19:30 開演	●	●	●	

※開場は開演の30分前です。
※車椅子でご来場予定の方は、当日のスムーズなご案内のために、事前に下記の問い合わせ先までご連絡ください。

チケット料金／前売 一般3,000円 学生1,500円 当日 一般3,500円 学生1,700円
※日時指定、全席自由、税込(未就学児童入場不可)

チケット取り扱い／●ローソンチケット ☎0570-084-001 (Lコード11770)
●インターネット予約 Corichチケット!
PC <https://ticket.corich.jp/apply/75081/> 携帯 <http://ticket.corich.jp/apply/75081/>

スタッフ
照明／上村範康 音響／奥山奈々 舞台美術／高村由紀子 舞台監督／上田知 衣裳／アキヨ (jelly fish)
宣伝美術／小島達子 デジタルコラージュ・宣伝写真撮影／クスメイリカ 宣伝映像／古跡哲平 (tab)
制作／澤田未来 廣瀬詩映莉 上總真奈 菊地颯平 南怜花 佐藤紫穂 (ex.fiction) ウメツケンイチ (ex.fiction) 金子唯 (劇団しろちゃん) 小森春乃 (劇団しろちゃん) 塚原瞳 今野桃花
プロデューサー／小島達子 ゼネラルマネージャー／カジタシノブ (tab)
協力／劇団清水企画 劇団千年王国 札幌ハムプロジェクト 実験演劇集団風蝕異人街 富良野GROUP 霊6
Special Thanks／さっぽろ天神山アートスタジオ 北あかり & BORDER
後援／札幌市・札幌市教育委員会 共催／NPO法人コンカリーニョ
企画・製作／ELEVEN NINES [tatt]



オフィシャル
スポンサー



10周年応援
ファン募集中!!

